

大信寺からのお知らせ

平成20年11月21日

大信寺住職 岡田真幸
護持会会長 千金楽勝夫
護持会 役員一同

護持会役員会 会議報告

期 日 平成20年11月9日(日)午後3時～

議 題

1. 役員交代の件
2. 護持会会費納入の件
3. 今年度会計中間報告

議事

役員交代の件

前大黒地区担当として、井田 弘氏が就任いたしました。(鯨井定義氏の後任)

護持会会費納入の件

大信寺護持会会費の額の変更はなく、各地区役員を通じて会計まで12月14日までに納入することが決定されました。

今年度会計中間報告

平成20年1月28日から現在まで、

収入 繰越金	1,603,131
貯金利息	2,349
収入合計	1,605,480

支出 建物共済	82,326
生花香典	39,250
支出合計	121,576

現在の残高は1,483,904円です。

護持会費 境内整備費納入のお願い

邑楽町町内は各地区役員が集金にお伺いしますので納入のほどお願い申し上げます。

町外の方は、12月12日までに大信寺にご持参いただくまたは、銀行振込をご利用下さい。

やさしさをありがとう

昨年に引き続き、にわ ぜんきゅうさん画の新作タオルをお使いください。

ある家を訪問しましたら、今年のタオルが居間に掲げてありました。思わず嬉しくなり、再度、新作タ

オルをお贈り申し上げます。
是非、お使いいただきまして、手そして心もお清め下さい。



行事のお知らせ

除夜の鐘 11時10分から突き始め

「除夜(じょや)」とは「旧年を除く夜」という意味で、12月31日の大晦日の夜をいいます。大晦日(おおみそか)の夜、鐘は108突きます。

除夜の鐘をつき、その音を聞くことによって、この1年のうちに作った罪を懺悔(さんげ)し、罪を作る心を懺悔し、煩惱(ぼんのう)を除き、清らかな心になって新しい年を迎えましょう。

大信寺の鐘を皆さんで突き、煩惱を除き、清らかな心身で、新年を迎えましょう。

11時10分から突き始め、12時10分には108回になります。

上州邑楽七福神めぐり

大信寺には、七福神のうち布袋尊をお祀りしており、布袋の寺としても知られています。

邑楽七福神めぐりで新春をスタートしてみませんか。

期日 1月10日(土)
1月17日(土)
4月11日(土)

に開催されます。

シンボルタワーを出発し、町内2.3kmを歩きます。問合せは、鈴木隆行氏へ(電話:0276-88-4709)

墓地分譲中

境内の墓地を分譲しています。お知り合いの方にご紹介下さい。

区画 奥行2m 幅1.8m
永代使用料 50万円
基壇施工費 95万円

念仏供養塔

境内に入って右側にある十三重の塔の隣にひっそりと念仏供養塔とあり、如意輪(によいりん)観音が祀ってあります。

台座には 寛政四年十月吉祥日(1792年)

右側には 上州邑楽郡篠塚村

左側には 曲松講中 施主 女人

とあります。

曲松(まがりまつ)とは古い地名で、大信寺の南東で国道354号の北側、セーブオンの付近に当たります。

今から216年前、曲松地区は7世帯ほどあり、その女性たちが機織りなどで貯めた浄財を出し合って建立したのでしょう。

曲松地区には、つい最近(平成20年7月)まで、百萬遍(念仏講)が伝わっていました。

如意輪観音とは、「どこへでも自由自在に転がっていて、現世で困っている人々の願いを聞きとどけてくれる」という、ありがたい観音さまで、当時の女性の願いが込められているようです。



26区公民館にて 平成20年7月26日

お地蔵さまにニット頭巾が

境内のお地蔵さまにニットの赤いちゃんちゃんこ、頭巾を着せていただきました。篤信の善女の方々が夜なべで手編みしたものです。



切り絵 絵はがき

鈴木隆行氏制作の切り絵の絵はがきを本堂内にて、販売しています。(限定40枚、100円)



<<住職雑感>>

宗教「信じない」7割、「魂は生まれ変わる」3割...

読売新聞社が今年5月17、18日に実施した年間連続調査「日本人」で、何かの宗教を信じている人は26%にとどまり、信じていない人が72%に上がることがわかりました。

ただ、宗派などを特定しない幅広い意識としての宗教心について聞いたところ、「日本人は宗教心が薄い」と思う人が45%、薄いとは思わない人が49%と見方が大きく割れました。また、先祖を敬う気持ちを持っている人は94%に達し、「自然の中に人間の力を超えた何かを感じることもある」という人も56%と多数を占めました。

多くの日本人は、特定の宗派からは距離を置くものの、人知を超えた何ものかに対する敬虔(けいけん)さを大切に考える傾向が強いようです。

死んだ人の魂については、「生まれ変わる」が30%で最も多く、「別の世界に行く」24%、「消滅する」18%となっています。

このように、先祖を敬う心、死後の魂は生まれ変わるという人々の思いが、お彼岸の墓参や施餓鬼会、そして年回供養として具現化されています。